

ライフとみおか

Contents

PAGE | TOPICS

- 1-2 町内の空間放射線量率
2020年度(令和2年度)までの結果について
- 3-4 旬!な自家製食材放射性物質情報
- 5 長崎大学のリスコミ!
- 6 なぜなに?放射線情報まとめサイト



麓山神社の火祭り

毎年8月15日に開催される麓山の火祭りは、大松明に火を燈すことに特色ある神事として、福島県の重要無形民俗文化財の指定を受けています。

Cover photo

麓山神社 (2016年8月撮影)

麓山神社は町内の定点測定を開始した当時から変わらず、同じ場所(境内)で継続して測定データを取り続けています。

町内の空間放射線量率

2020年度(令和2年度)までの結果について

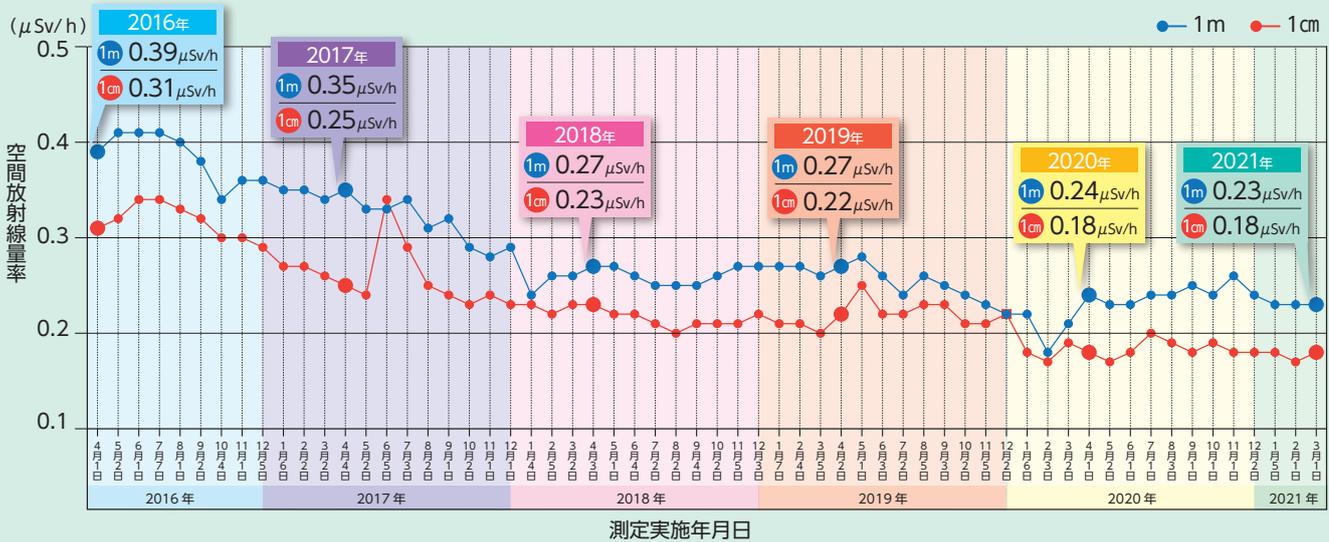
2016年度(平成28年度)から町が独自に、空間放射線量率の測定を行っています。
測定ポイントは町内全域の拠点施設などを対象とした140ヶ所(2020年度)で、行った測定データの中から2ヶ所についてまとめましたのでご覧ください。(生活環境課)



■麓山神社境内での測定結果



【2016年から2021年までの空間放射線量率の推移】



推移グラフを見ると、上下している月*1もありますが、空間放射線量率の値が緩やかな下降線を描いていることがわかります。

麓山神社境内は、除染が行われた後も、放射性物質の半減期*2や風雨等の影響により空間放射線量率の値が下がっていることがわかります。

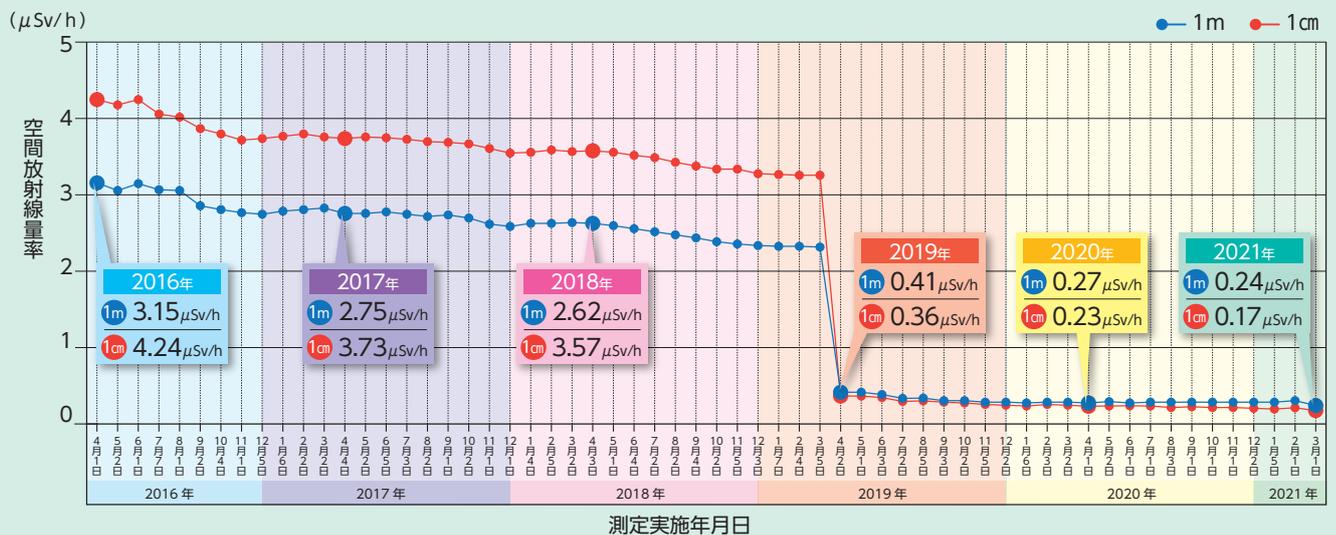


※1 放射性物質は一定のタイミングで放射線を発生させているのではなく、連続して発生したり不定期で発生したりと揺らぎがあります。そのほか気候条件によっても上下します。
※2 原発事故由来の放射性物質、セシウム134は2年、セシウム137は30年で放射線を発する能力が半分になります。

■新田第三なかよし広場での測定結果



【2016年から2021年までの空間放射線量率の推移】



こちらは特定復興再生拠点区域内にある測定ポイントとなり、測定当初は地上1メートルで $3\mu\text{Sv/h}$ を超えていました。2019年3月に敷地内の除染が行われ、4月の測定では地上1メートルで $0.41\mu\text{Sv/h}$ まで下がりました。その後、緩やかな下降線を描いています。



このように、除染や放射性物質の半減期などにより測定値が安定的に下がっているか、急な空間放射線量率の上昇が無いかが、毎月の測定を行うことで確認しています。(現在までに原因が特定できていない急激な値の増加は確認されていません。)



毎月の測定結果は「広報とみおか」に掲載しています。

また、「とみおか放射線情報まとめサイト」には、今回ご紹介した2ヶ所を含め、他の測定ポイントの測定開始時から現在までの空間放射線量推移グラフなど、継続した測定結果を見ることができます。

「とみおか放射線情報まとめサイト」

<https://tomioka-radiation.jp/air-dose/kukan.html>



旬!^{自家製}な食材 放射性物質情報

Radioactive material information

令和3年3月から4月に食品検査所に持ち込まれた山菜の放射性セシウム濃度について

山菜全体としては、放射性セシウム濃度の低減化傾向が見られますが、非破壊式放射能測定装置(そのままはかるNDA)による放射性セシウムスクリーニング法検査で、スクリーニングレベル*¹(50Bq/Kg)超過数の検体数に対する割合は、昨年度と変わらない傾向となっております。

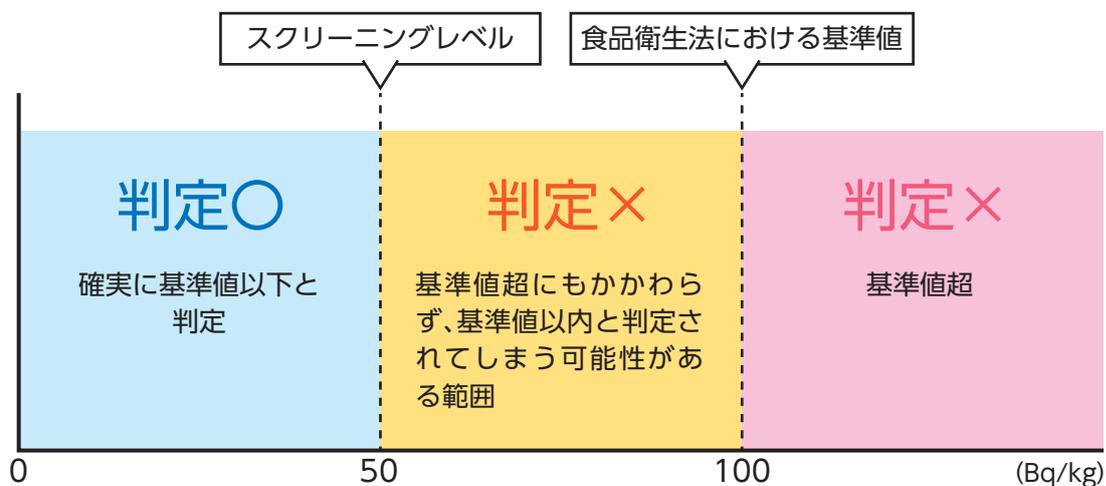
(食品衛生法における一般食品中の放射性物質に関する濃度の基準値は100Bq/kgです。)

※1 スクリーニングレベルとは？

食品中のセシウム濃度をそのままの形で簡便かつ迅速に測定する際、国が定めた検査において一般食品の基準値(100Bq/kg)を確実に下回ると判定するための値です。(合否の判定)

スクリーニングレベルの値は基準値の1/2以上と定められており、町では(50Bq/kg)に設定しております。

○非破壊式放射能測定装置「そのままはかるNDA」による測定



※測定結果が50(Bq/kg)以上100(Bq/kg)以下の際は、放射性セシウム濃度の詳細値を把握するため、ゲルマニウム半導体放射能測定装置による測定をおすすめしています。

単位:Bq/Kg

 <p>ゼンマイ (検体数:14)</p>	●測定結果の範囲 59.8 ~ 6073.1	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 14検体/14検体 100%
 <p>タラノ芽 (検体数:15)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 953.1	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 10検体/15検体 67%
 <p>ワラビ (検体数:16)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 935.9	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 9検体/16検体 56%
 <p>タケノコ (検体数:44)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 1057.8	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 24検体/44検体 55%
 <p>ウド (検体数:11)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 240.4	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 2検体/11検体 18%
 <p>コゴミ (検体数:5)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 95.3	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 1検体/5検体 20%
 <p>フキ (検体数:14)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 25.3	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 0検体/14検体 0%
 <p>フキノトウ (検体数:8)</p>	●測定結果の範囲 ND ~ 42.6	●スクリーニングレベル 50Bq/kg超過割合 0検体/8検体 0%

※不検出 (ND)

測定結果が「不検出 (ND)」となっている場合は測定値が検出限界値未満であったことを示しています。

以上のように、放射性セシウムの濃度は品種や場所によって異なり、驚くことにゼンマイは100%、タラの芽及びワラビ、タケノコについては、依然50%以上と基準値超過の割合は高い傾向になっています。

一方、フキ及びフキノトウについては、超過割合は0%でした。



山菜の放射性セシウム濃度については、ライフとみおか第6号でも過去三年間の詳細なデータを掲載しています。食品検査所にて配布をしているほか、とみおか放射線情報まとめサイトでも見ることが出来ます。

「とみおか放射線情報まとめサイト」

<https://tomioka-radiation.jp/category/magazines>



Instructor

長崎大学
まつなが ひとみ
松永 妃都美先生



妊産婦さん・ママさん向け車座集会開催

長崎大学では、新型コロナウイルス感染拡大のために延期となっていた、町内のお母さんを対象とした車座集会を動画サイトYouTubeとの同時配信で開催しました。



今回は、『内部被ばくについて』と題して、富岡町食品検査所で自家栽培野菜の放射性セシウム濃度検査を見学後、茨城県にある農研機構の八戸真弓先生に「調理・加工による食品中の放射性物質の濃度や量の変動について」というテーマで講演していただきました。

新型コロナウイルスの感染リスクがある中、このような会を従来通り開催することが難しくなっていますが、長崎大学としては今後も感染動向を見極めながら対策を十分に行い、適切な環境下で開催していきたいと考えています。



長崎大学では、富岡町への新規転入者などを対象とした戸別訪問を実施する予定です。

本学助教で保健師の松永妃都美がご自宅を訪問させて頂く予定ですので、放射線に関する疑問や不安等、お気軽に相談ください。

引き続き、放射線に関する疑問や不安、放射線被ばくと健康影響に関するお話会のリクエストなど、何でもお待ちしております。



なぜなに？ 放射線情報まとめサイト VOL.11

富岡町の放射線情報を“まとめ”たウェブサイトを2016年から開設しています。
ここでは、ウェブサイトをなかなか見る機会がない方のために紙面で“まとめ”ていきます。

【今回のテーマ】 町内の除染に関する情報について

富岡町は町内で環境省が実施した除染事業について、専門的見地から除染結果の分析・検証を行うため、有識者で構成される「除染検証委員会」を設立しています。2021年(令和2年)3月16日に第20回が開催されました。今回はその内容の一部を抜粋しながらご紹介します。

Q. 委員会ではどんな内容が話し合われているの？

答

- 町で行っている食品検査に持ち込まれた、自家消費野菜等の放射性セシウム検出状況の検証
- 町内空間放射線量率の検証
- 大気中に浮遊しているチリやホコリの放射性セシウムの検出状況の検証
- 町内土壌の放射性セシウム検出状況の検証
- 環境省が行っている町内除染の進捗状況

その他、家屋の解体状況など様々な事柄が話し合われています。



現在の町の除染状況総評

避難指示が解除された区域は国による本格除染は終了し、空間線量率の低減は十分に確認されておりますが、引き続き、住民に寄り添いながら、フォローアップ除染を進めていく必要があると考えております。

また、特定復興再生拠点区域については、現在も除染が進められていますが、依然として放射線量が高い箇所も多いことから、効率的、効果的な除染を実施し、避難指示解除に向け放射線量の低減化を図っていく必要があります。

検査結果や検査方法など詳しく見てみたい！

とみおか放射線情報まとめサイトで！

「とみおか放射線情報まとめサイト」では、町内で毎月行われている検査の日程と検査結果を公開しています。検査方法や検査の流れなどの動画も見る事が出来ます。



◀「とみおか放射線情報まとめサイト」
<https://tomiooka-radiation.jp/>
「町内の除染に関する情報」▶
<https://tomiooka-radiation.jp/josen.html>

とみおか放射線情報まとめ



NEWS

長崎大学の研究生が富岡町に自生する山菜等の線量を測定

4月に、放射線に関する包括連携協定を結んでいる長崎大学から、研究生2名が、町の山菜や自家栽培野菜の放射性物質測定を通じた内部被ばく線量の評価に関する研究のために来町しました。フィールド調査では試料(山菜や野菜)を実際に収穫し、食品検査所で放射線濃度の測定を行いました。



富岡町食品検査所Ge半導体検出器での測定

●町民の皆様から山菜の説明を聞いて松永先生と現地調査する研究生



試料採取(自生する筍掘り)



自生土壌の線量測定(こしあぶら・ぜんまい)



長崎大学
の研究生



アイジャンさん
(カザフスタン出身)



りゅう
劉さん
(中国出身)

ライフとみおか

発行・編集 富岡町役場 健康づくり課

〒979-1192 富岡町大字本岡字王塚 622 番地の1
TEL.0240-22-9003 ☎0240-22-1111

とみおか放射線情報まとめサイト
<https://tomioka-radiation.jp/>

